2015合格者座談会 医系

周りにふりまわされず自分のペースで学習を！

市川 竣太／順天堂大学医学部
北村 晃／東京慈恵会医科大学医学部
佐藤 耕平／東京慈恵会医科大学医学部
佐野 恭平／千葉大学医学部
間瀬 太朗／慶應義塾大学医学部

【司会】大澤 裕一（SEG高２・３数学主任）

敬称略

※東京大学理科Ⅲ類合格者の声は、理系号に掲載しています。

※本文中に出てくる「青本」はSEG高２冬期～高３春期の数学のテキスト、「クリーム本」はSEG高３・1学期の数学のテキストです。

自己紹介

SEGに入ったきっかけ

大澤　まず自己紹介をお願いします。ＳＥＧに入ったきっかけも教えてください。

佐藤　駒場東邦高校を卒業して、東京慈恵会医科大学に通っている佐藤耕平といいます。ＳＥＧに入ったのは中１の冬です。いろいろあって部活動をやめて、不毛な冬休みを過ごしているときに、母から「家でダラダラしているぐらいだったら、塾にでも行けばいいじゃない」と言われて、友達が通っていたＳＥＧに入りました。授業が自分に合っていると感じて、そのまま通い続けました。

間瀬　筑波大学附属駒場高校出身で、現在は慶應義塾大学医学部医学科の間瀬太朗です。ＳＥＧに入ったのは中３のときで、大澤先生の「高校数学のエッセンス」が最初に受けた授業です。筑駒はＳＥＧに通っている生徒が多く、僕も通ってみようかと思ったことがきっかけです。その後、物理や化学の授業も受けるようになり、結局、高３まで通いました。

佐野　麻布高校出身で、千葉大学医学部の佐野恭平です。ＳＥＧに入った理由は、塾に行きたいと思い、いろいろ探していたときに親に勧められて、とりあえず中３の夏期講習に参加しました。杉山先生の確率の授業でしたが、すごく面白くてそのまま通うようになりました。

市川　暁星高校出身の市川竣太です。順天堂大学医学部に通っています。中３のとき、暁星の同級生が大澤先生の授業を受講していて、面白いからと勧められたのがＳＥＧに入ったきっかけです。

北村　浅野高校出身の北村晃です。東京慈恵会医科大学に通っています。中学から他塾で英語と数学を勉

	市川 竣太 順天堂大学医学部（暁星高校）	北村 晃 東京慈恵会医科大学医学部（浅野高校）	佐藤 耕平 東京慈恵会医科大学医学部（駒場東邦高校）
後輩に薦める参考書は？	・『センター試験 地理Ｂの点数が面白いほどとれる本』（中経出版） ・『英単語ターゲット1900』（旺文社）	・『数Ⅲ 試験に出る計算演習』（河合出版） ・『英語イディオム表現集 ―語源を知れば自然に出てくる』（三修社） ・『クイズで覚える英語イディオム520』（東京堂出版） ※イディオム集２冊は慈恵第一志望の方のみ	・『中里の即決古文文法入門―代々木ゼミ方式』（代々木ライブラリー） 理系センター対策としておすすめ。必要な知識が無駄なく書いてある。 ・『UPGRADE』（数研出版） ネクステよりもきれいにまとまっていて使いやすい。
最近読んで面白かった本は？		・丸尾啓敏『カリスマ外科医じゃないけれど』（法研）	・東浩紀『弱いつながり 検索ワードを探す旅』（幻冬舎） ・司馬遼太郎『坂の上の雲』（文藝春秋）
座右の銘、好きな言葉は？	「臥薪嘗胆」	「汝まず世界の必要とする者となれ。さすれば、たとえ森の中に住むといえども汝の戸口に人々が集まるであろう」（安田亨先生の座右の銘をお借りして）	"Slow and Steady" 何事においても、特に受験期においては愚直に努力していく姿勢が大切だと思っています。他人の成績でどうこう考えるよりも、一歩一歩、着実に進もう。
自分はどんなSEG生だった？	数学のクラス分け試験で毎回、２回目か３回目のテストでギリギリＧクラスに残っていたSEG生	毎週授業後に質問を繰り返し、22時（帰宅時刻）を過ぎても粘り続けたSEG生	考えることが大好きなSEG生だった。分からない問題もなるべく自分一人で解決したかったし、他の人が問題を解けたときは何かと悔しいものがありました。長くじっくり考える姿勢はSEGから学びました。
目標とする人・尊敬する人は？	ベルルスコーニ元伊首相 スキャンダルがありながらも、首相に４期当選するようなカリスマ性があるから。	父 医師としての父の姿をみて今まで来ました。尊敬というと少し大げさかもしれませんが、いつまでも先輩であることには変わりありません。	自分の専門を極め、なお一層楽しそうにその世界を探求するSEGの先生方
大学生活の魅力は？	寮生活なので、基本は今までの男子校の延長という感じです。ただ同級生に異性がいるというのは魅力です！	色々な先輩、同輩に出会えること！	とにかく自由。いろいろできることがあるが、何かをすれば、それはすべて経験となって将来の糧となる。逆に、何もやる気がないと何も得られない。
将来の夢は？	幸せな家庭を持つこと。	NBM（患者さんが抱える悩みに全人的に対応しようとする臨床手法）を自然に実践できる医師。	世界でまだまだ謎の多い分野の医学を解明していくこと。

強していたのですが、高１になってそろそろ理科の勉強も始めようと思ったとき、理数系に強い塾というＳＥＧの評判を聞いて入りました。

ＳＥＧの印象

個性的な先生が多い

大澤　ＳＥＧの印象はいかがでしたか。とくに授業や先生の印象を中心にお願いします。

市川　個性的な先生が多いですよね。僕が最も印象に残っているのは、化学速修の麓先生です。もちろん、化学そのものの授業内容も素晴らしいのですが、知識が豊富な先生で、それを背景にしたジョークにはまってしまいました。もっとも、はまってしまったのは僕だけだったようで、教室で笑っている生徒は一人だけということもありましたが（笑）。

佐野　僕は数学の岡本先生と仲良くなって、休み時間に数学の話で盛り上がっていました。LINE で岡本先生に自作の問題を出して、先生からその改良版の問題が送り返されてくるといったやりとりをしていたこともあります。

佐藤　僕は青木亮二先生にお世話になりました。最初に出会ったときのインパクトのすごさは忘れられません（笑）。あのキャラクターの濃さと、素晴らしい授業内容のバランスが最高です。

間瀬　木村浩二先生が印象に残っています。見た目はいかついのに、授業内容はとても分かりやすくて、そのギャップがよかったですね。

北村　僕がＳＥＧで最初に受けたのは、吉久先生の化学です。高１でまだ化学のことがよく分かっていない生徒たちに対して*、分かりやすい授業を心がけながらも、大学で学ぶような内容にも少し足を踏み込んでいきました。それがとても刺激的でした。

数学の勉強法

クリーム本を繰り返し勉強

大澤　では、科目別に具体的な勉強法をアドバイスしてほしいと思います。まず数学から、主として高３の勉強法を聞かせてください。

間瀬　高３の１学期はクリーム本の予習をメインにしました。復習は、授業後電車の中や自宅でざっと見直した程度です。簡単に解ける問題ではないので予習に時間がかかるし、他科目の勉強もあるので、復習の余裕がなかったからです。その分、高校の１学期の授業が終わって、ＳＥＧの夏期講習が始まるまでの期間にクリーム本を絶対１周しようと決めて、解き直しました。夏休みには夏期講習の予習・復習と並行して、クリーム本の２周目を終えました。何周もするのに意味があるのか、個人差があるとは思いますが、とにかくやり続けることが大切だと考えたのです。９月からはテストゼミの復習とクリーム本、夏期講習のテキストの解き直しをやり、直前期もテストゼミの解き直しに専念し、ほぼＳＥＧの教材だけで乗り切った感じです。また直前期には、100 分のテストゼミの問題を 80 分に時間を短縮して解いて、計算のスピードアップを図る練習用としても活用しました。

佐野　僕も使ったのはクリーム本だけです。予習に力を入れて、どんなに汚い方法でもいいから（笑）解き切ることを意識しました。検算も繰り返し、すべての問題で完全正解をめざしました。ただし、１周しただけです。２学期以降は、物理、化学に力を注いだので、数学はテスト演習で間違えた問題を解き直したぐらいです。

佐藤　僕もＳＥＧのカリキュラムの流れに沿って勉強しました。１学期はクリーム本の予習をして授業を受けて、青木亮二先生から配布されたプリントを復習し、夏休みも同様の作業を続けました。夏にクラスを落としてしまったのですが、秋以降のテストゼミで大澤先生が上のクラスのプリントもくださったので、両方の問題を解いていました。大澤先生の丁寧な添削のおかげで実力がついたと思います。

市川　高２までほとんど予習をしていなかったのです

	佐野 恭平 千葉大学医学部（麻布高校）	間瀬 太朗 慶應義塾大学医学部（筑駒高校）
後輩に薦める参考書は？	・『英語長文問題精講』（旺文社）	・『新理系の化学問題100選』（駿台文庫） ・『小論文 時事テーマとキーワード』シリーズ（旺文社） ・『センター試験 地理Ｂの点数が面白いほどとれる本』（中経出版）
最近読んで面白かった本は？		・東野圭吾『同級生』（講談社）
座右の銘、好きな言葉は？	「人事を尽くして天命を待つ」	「努力は必ず報われる。報われない努力があるとすれば、それはまだ努力とは言えないかもしれない」
自分はどんなSEG生だった？	数学が大好きで、先生に積極的に質問しにいくSEG生	ある授業では騒ぎ、ある授業では静かだったＳＥＧ生（笑）
目標とする人・尊敬する人は？	山中伸弥教授 地道な研究によって大きな成果を得た人だから。	
大学生活の魅力は？	自由な時間が多い。	空きコマや休みの日に友達と遊びにいけるところ。
将来の夢は？	医学の研究をし、何かを発見すること。	臨床医

＊現在、高１化学（３年コース）は開講されていません。

受験までの私の学習

市川 竣太
Shunta Ichikawa

科目	得意度指数	学習方法
数学	★	・数学は苦手だったので、ひたすらクリーム本を解いて気をまぎらわしていた。 ・雲Ｔ先生が教えてくださる定石をまとめた「定石ノート」を作って、入試会場にも持参してお守りのようにしていた。 ・自分は、分からない問題に根気よく立ち向かう力がなく数学が得点源にならなかったから、根気は大切だと思う。
英語	★★★★	・ひたすら他塾の宿題を解いていた。 ・赤本で出てきた分からない医系の単語などを単語帳にまとめて直前期に見ていた。
化学	★★	・化学速修を取っていたので、授業後できるだけ早く講義のノートを見直して問題集を解いていた。 ・化学速修はどんどん進んでいくため、以前の単元を忘れてしまいそうだったので、大きな問題を抽出して忘れないように解くようにしていた。
物理	★★	・予備校のテキストを『物理のエッセンス』（河合出版）と組み合わせてひたすら解いていた。 ・自分で公式の導出ができるようにと努めたが、自分が受けた学校ではあまり効果を発揮しなかった。
国語	★★★★★	・漢文は句形を、古文は古文単語と助詞・助動詞をひたすら覚えた。 ・国語はセンターでしか使わなかったので、消去法と二者択一の技術をひたすら磨いた。
地理	★★★	・ただひたすら覚えるのではなく、重要な箇所を覚えてそこから順序立てて推測するようにした。 ・あまりに古い過去問はデータが古いので、ある程度センターの過去問を解いたら、大手予備校の予想問題集を解くようにした。

が、高３の１学期からはクリーム本の予習に力を入れました。予想以上に時間がかかりましたが粘り強く取り組みました。また、雲Ｔ先生の授業では、毎回黒板に定石が示されます。それをノートにまとめて何度も見直しました。夏休みはクリーム本を１周しようと覚悟を決めて、友達と「今、どこまで終わった？」と確認し合い、励まし合って乗り切りました。２学期のテストゼミは、クラス分け試験でギリギリＧクラスに合格し背伸びして入った感じで、最初はまったく平均点に届かない点数でした。けれども、雲Ｔ先生から「テストゼミがあった当日に、同じ問題を復習するといい」とアドバイスされ、それを実践するとともに、先ほどの定石ノートをひたすら覚えるように努めたところ、最後の２回は平均点以上がとれるようになりました。

佐野　僕も雲Ｔ先生に教わりました。雲Ｔ先生からは、クリーム本のこの章を解いて提出しなさいといった宿題が出されます。その宿題は１周半やりました。

北村　僕が数学の勉強で重視していたのは復習です。分からなかった問題、解答までたどり着けなかった問題は、帰宅後ルーズリーフに問題文と解答を書きました。そのうえで、問題文から正解に至るためにはどのような発想過程が必要になるのか、なぜその立式になるのかなどを考えて、自分の言葉でルーズリーフに書くようにしていました。高２の１月から直前期までにストックしたルーズリーフを、入試前日などに見直して、再確認できたことが大きかったと思います。

大澤　数学が苦手な人にとって有効なアドバイスはありませんか。

北村　僕も数学は得意というほどではなかったのですが、今のルーズリーフにまとめる方法を実践したことが効果的だったと思っています。それから、数学では計算ミスが致命傷になるケースが少なくありません。僕は計算問題だけの問題集『数Ⅲ 試験に出る計算演習』も１冊やりました。

佐野　僕は粘り強く解くことを心がけました。分からない問題を10時間以上考え続けたこともあります。間違えたときは、どこで間違えたのか自分で原因を探して、その場所からもう一度解き直すようにしました。

大澤　確かに自分で間違えた箇所、原因を見つける力は重要ですね。

佐野　自分がどんなところで間違えやすいか分かっていれば、その箇所で何回も検算するようになり、計算ミスも防げます。

佐藤　僕も「粘る派」でした（笑）。高校で『体系数学』を使っていたのですが、後半になるとなかなか解けない問題が増えてきます。それでも自分の力で解いて一応の解答が出せたら、解説は見ずに解答だけちらっと見て、正解でなかったらまた閉じてチャレンジするという勉強を繰り返していました。それによって数学力が伸びたと感じています。

間瀬　それも個人差があって、僕には10時間も粘るなんて無理です（笑）。僕自身の反省を踏まえて一つアドバイスしたいのは、解き方、解答が見えたからもうOKと思ってはいけないということです。できると思った問題でもちゃんと計算して、最後まで解き切る姿勢が重要です。そうしなければ、僕がそうだったように計算ミスに苦しむことになってしまいます。

英語の勉強法

大量の英文に触れて速読力を高める

大澤　英語の勉強法についても教えてください。

北村　もともと英語は得意だったのですが、英文を大量に読むように心がけていました。高１のとき、ＳＥＧの多読にも通い、日本語に訳すのは面倒だなと思うぐらい英語を英語のまま読むように意識していました。医学部入試では速読力が要求される大学も多いので、有効な勉強法だったと思います。また、慈恵では口語表現のイディオムがよく出されます。そこでTOEFL用の参考書などを購入して、通学の電車の中で読むなど対策を立てました。

佐藤　僕はそのイディオム問題はお手上げでした。

佐野　僕もまったく解けていません。ほとんどの受験生が無理で、差がつかない問題だと思います。

北村　そうかもしれません。僕は慈恵が第一志望だったので、他の受験生が対策していないような問題で得点できれば大きなアドバンテージになると思ったからです。

市川　高１から『英単語ターゲット』、高２から『英熟語ターゲット』を使って、語彙力増強に努めました。また、志望校の出題傾向に則した対策学習も進めました。順天堂はかなり長い自由英作文が出題されますから、高３の２学期から週１回、高校の先生に過去問の添削指導をしていただきました。順天堂は問題量も多いので、速読力を高める努力もしました。

佐野　市販の単語集は使わず、ノートを半分に切って、自作の単語帳を作り、時間があるときに見るようにしていました。ずっと文法や英文解釈中心の勉強をしており、読むスピードは遅いけれども、難しい英文には対応できる力を身につけることを優先しました。それでも、高３の夏休み明けからは速読力も必要だと感じ、速く読む練習をして本番に間に合わせました。

大澤　速読力をアップするいい方法はありますか。

佐野　これはもう大量に英文を読むしかありません。

佐藤　大量の英文を読む中で語彙力も増強できますし、読むスピードもアップします。それでも知識に抜けがありますから、僕は文法問題集を１冊買って通学の電車の中で解きました。

間瀬　英語には毎日触れることが大切です。僕は毎日、長文を20～30分音読していました。読解力はそれで身につきますが、文法や英作文は客観的な評価を受けることが大切になります。他塾の先生に添削指導をお願いし、返却された答案を見てどのような表現が的確だったのかをチェックして、ノートにまとめました。

理科の勉強法

間違えやすい箇所をチェック

大澤　次に理科の勉強法に移ります。全員、物理と化学を選択したようですから、その勉強法を聞かせてください。

佐野　化学は高１の夏から、３年間コースに通いました。授業中は吉久先生のものすごい勢いの板書を写すので精いっぱいでしたが、分からない部分はその日のうちに全部質問して、帰りの電車の中で分からないところがないか再度確認して完全消化をめざしました。演習に入ってからは大量の宿題が出され、８割ぐらいしか解き切れないこともありました。ある程度やりっ放しになってしまった部分もあったので、クラス分け試験の前にまとめて復習するとともに、秋以降、忘れているところ、抜けているところを自分でノートに書き出して復習しました。３年間コースで他の生徒よりも長く勉強している分、化学は得意で得点源になりました。物理は２年間コースで、麓先生に教わりました。物理は最初の設問で間違えると、連座式で全部不正解になってしまう科目です。テスト演習で気づいたので

受験までの私の学習

北村 晃
Hikaru Kitamura

◆学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は？
数学の問題をノートに書き、答案を書き、そのうえでどうやったらその解法が思い浮かぶかをひたすらノートに書き溜めていました。数学の思考回路がじわじわですが、ちゃんと定着していると感じられました。

◆先生にどれくらい質問した？
夜10時になると警備員さんが生徒を帰るように促すのですが、いつもせかされる生徒でした。警備員さんごめんなさい、そして遅くまで付き合ってくださった先生ありがとうございます！

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★	数Ⅲ中心に、分野の優先順位を立てて勉強していました。どうしたら先生が出すような解法が自分の中で浮かぶのか、言葉で書いて類題で活かせるようにしました。
英語	★★★★★	慈恵の問題は口語イディオムが多いことは過去問研究で分かっていたので、イディオム帳を買って日々ストックを増やしていきました。
化学	★★★★	得てして問題文が長くなりがちな化学の問題文で、どのように情報を拾っていくか、どうしたら読み落としミスがなくなるか、あと少しで取れたはずの問題をいかに少なくするかに細心の注意を払いました。
物理	★★★	予習をしっかり。分からないところを具体化して授業に臨み、それでも分からないところは先生に質問し、授業の類題を解く。一つひとつ積み上げていきました。

すが、僕は簡単なところで同じようなミスをする癖がありました。そこで、自分がどこでミスするのかをノートに書き出して、テストや模試の前に見直すようにしました。

間瀬　僕はちょっと変則で、化学は３年間コースに高２から途中編入しました。３年間コースに通っていた友達に吉久先生の授業がすごいと勧められたからです。理論化学は独学で勉強し、試験を受けて合格しました。高２の４月からは有機化学がスタートしていたのですが、並行して理論化学のテストがあり、チェックシートで確認していたので、理論化学についても問題はなかったと思います。高２の９月からは演習が始まりますが、絶対に終わらないだろうと思うぐらい（笑）大量の宿題が課されます。予習しきれないので、復習だけはきちんとするように努めました。高３の夏休みはそれまでのテキストの復習を中心にして、自分が間違えやすい箇所をまとめました。阿部先生のテストゼミに入ってからは難しい問題が多かったのですが、取り上げられた問題は完全に正解まで到達できるように努力しました。物理は２年間コースです。授業内で理解しようと思い、板書をノートに写すよりも先生の話にじっくり耳を傾けるようにしました。高３の１学期に佐々Ｆ先生の演習に入ってからは、予習を中心にして、時間に余裕ができたときにまとめて復習しました。

北村　僕も化学は高１から３年間コースに入りました。高２の秋から演習に入り、演習量には自信がありました。結局、ＳＥＧのテキストを使った勉強だけで入試に臨みました。物理は高３で麓先生に教わりました。麓先生は毎週、テキストの類似問題を配布してくださいます。相当な量があったのですが、翌週までに全部解いて理解した状態にしてから授業に臨むように心がけました。それでも分からないところが出てきたら、すぐに講師室に行って先生に質問していました。

大澤　そういえば、北村くんはよく講師室で見かけましたね。ところで、慈恵は化学で難問が出ると聞いた記憶がありますが……。

北村　伝統的に難しいのは化学なのですが、今年の問題は比較的簡単でした。もう一つ気をつけておかなければならないのは、慈恵は英語、数学、物理、化学、生物の配点が均一だということです。つまり理科の配点ウエートが他の学校とくらべ高いわけで、僕は理科をしっかり勉強しようという意識を持っていました。

佐藤　僕は、物理は９月のテストゼミからＳＥＧで学びました。それまで問題演習量が不足していたので、最初は悲惨な点数でした。けれども、解けなかった問題をテストゼミ直後に解いて、さらに１週間後、１カ月後と間を空けて同じ問題に繰り返し取り組む勉強法を取り入れたところ、４回目頃から高得点がとれるようになりました。化学は高２の１月から川原先生の授業を受けました。物理と同じように、解けなかった問題を授業直後、１週間後、１カ月後と何度も取り組むことで、解法が定着しました。ただし、直前期まで知識に不安があったので、12月に無機化学のチェックシートを活用してカバーしました。

市川　化学は速修に通いました。２年間コース、３年間コースの人と比べて、問題演習量が不足しています。まずは授業を一生懸命聞いて、当日か遅くとも翌日までにノートを見返して理解するように努めました。麓先生から毎週出される宿題も、絶対に手を抜かず取り組みました。それでも問題演習量に不安があったので、冬期講習でテストゼミを選択しました。直前期は、それまでに間違えた問題をチェックしておき何度も見直しました。物理も化学と同様に、間違えた問題に印をつけておいて繰り返し解きました。また、最初は単に公式を覚えて解くだけだったのですが、後半は自分で公式が導き出せるように意識しました。

大澤　理科でお勧めの問題集はありますか。

間瀬　高３の２学期に、阿部先生に『新理系の化学問題100選』を勧められました。良質な問題が多いと思います。

佐野　僕はＳＥＧのテキストだけですね。

センター試験の対策

国語、社会への対応は？

大澤　センター試験のための対策学習は行いましたか。とくに国語、社会を中心に聞かせてください。

北村　慈恵が第一志望だったので、センター試験に特化した勉強はしていません。センター試験特有の出題傾向を過去問でチェックした程度です。

市川　国語は秋から古文単語、漢文の句形を覚え始め、直前期は過去問を10年分やりました。ただし、現代文は運だと思っており（笑）、古文・漢文しか解いていません。社会は地理選択で、『センター試験地理Ｂの点数が面白いほどとれる本』を使いました。直前期には予備校の予想問題集と、地理はデータが古くなるのであまりさかのぼらず、数年分だけ過去問を解きました。

佐野　僕も国語は運任せでした。センター模試も５割から９割まで波が激しくて。何とかしようと古文単語集を始めたのですが、半分で挫折しました。センター試験の前日に2014年の追試験の過去問をやったら、古文は全滅でした。ところが本番は、現代文が解きやすく助かりましたし、古文も２問ミスしただけで160点とれました。運がよかっただけで、何の参考にもならない話で申しわけありません。社会は倫政を選択しました。11月から過去問を始めたのですが、倫政はよく出題される分野が決まっているので、過去問で間違えたところを、その分野の関連事項を含めて覚えるようにしました。12月初旬には過去問で７割以上得点できるようになったので、これ以上は必要ないと思って他科目の勉強に集中しました。本番も想定通り75点でした。

間瀬　国語は、高３の夏から現代文の過去問を20年分解きました。読解の作法を意識しながら解くのがコツです。古文･漢文は、１学期に単語、句形を固めて、２学期から過去問に取り組みました。地理は市川君と同じ『点数が面白いほどとれる本』で勉強しました。夏から11月までに３周は読んだと思います。もちろん過去問も解きました。それから、僕はセンター試験の数学が苦手でした。当初は過去問で７～８割しかとれなかったほどです。そこで過去問を30年分解いたほか、予備校の予想問題集も大量に解きました。それ

受験までの私の学習

佐藤 耕平
Kohei Sato

◆繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？
SEGのテストゼミ。最初のころの週に川原先生からのアドバイスにあったように授業、授業直後、１週間後、１か月後と間を空けながら、繰り返し復習をしていました。これをしていたのは９月～11月にかけてですが、夏までに固めた基礎とテストゼミで鍛えられる問題を解く力が合わさって、かなりの成績向上につながりました。

◆過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？
第一志望校の過去問は10年分を、９月に１年、10月に３年、11月に３年をやりました。しかし、進学校の過去問は全科目２年分しか解いていません。結局は真の学力を身につけることが重要です。

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★★★	基本的にはSEGどっぷり。高２までの勉強としては、『体系数学問題集』を粘って解く、間違いがあれば、ひたすらそれを見つける作業をしていて、当時かなり成績は上がりました。高３からは『クリーム本』を２～３周する意識で解いていました。
英語	★★★★	他塾の指導。長文を読んで（大量に与えられる）、それを一週間かけて音読し自分の体にしみこませていく感じです。文法のほうに関しては、『UPGRADE』という問題集を４～６月にかけて、電車の中のみで完成させてそれ以来はあまり手をつけていないです。
化学	★★★★★	高２の１月からSEGに通っていました。基本的にはSEGメインでとくにこれといってほかのことはやっていないです。知識が弱い感じがしていたので12月ころからセンター対策の意味合いも込めて、無機、有機のチェックシートをやっていました。あとは９月からのテストゼミをひたすら反復です。
物理	★★★★	４月～８月は他塾で受講をして、知識のインプットをしていましたが、９月以降はそれをアウトプットするという意味でSEGのテストゼミをとりました。この時期でかなり成績は上がったと思います。
国語	★★★★	基本的には学校の授業メインです。かなり記述を書かせる先生だったので、そこで国語力も伸びたのだと思います。記述による国語力の維持は受験直前もやっていました。古漢に関してはまず文法をしっかり固めて、あとは文章を読むことが大事かなと思います。
地理	★★★	10月頃から対策をはじめました。実況中継の参考書を一通り読み、その知識をもとにセンター演習を繰り返し行っていました。

でも、本番では数ⅡBの問題を解くところを数Ⅱの問題を解くという失態を犯してしまいました。途中ですぐに気づいたのですが、失点につながりました。同じミスをしないように注意してほしいと思います。

佐藤　駒場東邦は書く力を重視しており、記述問題のトレーニングを積んでいたので、国語はもともと得意でした。記述力を高めておけば、センター試験の紛らわしい選択肢にも惑わされずにすみます。ですから、僕は直前期も記述の練習を続けました。そのほか、古文は『中里の即決古文文法入門』と『マドンナ古文』を活用し、漢文は文法書で句形を覚えました。それによって、センター試験では、古文･漢文は満点で、トータル171点でした。社会は地理を選択しました。10月の大澤先生との面談で、いつ頃から地理の勉強をスタートさせたらいいか相談したら、そろそろ始めた方がいいとアドバイスされ、問題集と過去問で演習しました。残念ながら、今年のセンター試験の地理は難しく撃沈でした。

大澤　そのほか、地理の勉強法としては、何か有効なものはありますか。

間瀬　白地図がお勧めです。僕は先ほどの『点数が面白いほどとれる本』の内容を、白地図に記入するようにしていました。ビジュアルでイメージできるので、すんなり頭に入ってきます。

面接・小論文の対策

面接で聞かれることを把握

大澤　医学部の中には、面接・小論文を課す大学もありますが、どのような対策を立てましたか。

北村　他塾で短期の小論文講座をとりました。慈恵では小論文が課されないのですが、面接のために医学的知識を蓄えておくことも必要になるので。それから１次試験が終わった後、過去１年間の時事問題をチェックして、面接で使えそうなニュースをノートにまとめました。実際、慈恵の面接で話題にしたところ、面接官の反応は好感触でした。また、慈恵はサークル活動が盛んで、ほぼ全学生が何らかのサークル活動に参加します。そのような校風も影響してか､私の面接では、もし入学したらどのサークルに入りたいかという質問をされました。僕はジャズ研究会に入りたいと思っていたのでそう答えると、どうしてそんなに部活のことを知っているの、と聞かれ、会話が弾みました。事前にどんな質問がされるのかを把握するとともに、入学後のビジョンも明確にしておくと有利だと思います。

間瀬　慶應は400字の小論文なのですが、過去問が非公表なので、他大学の過去問を使って、400字書くのにどれぐらいの時間がかかるのか、時間配分の目安を立てるようにしました。面接は国立受験のときに失敗してしまいました。大学の志望動機、どんな医師をめざしたいのかなど、必ず聞かれる質問については事前に絶対用意しておいた方がいいでしょう。身だしなみなど、基本的な注意事項も面接対策本を読んでチェックしておくことが大切です。

大澤　面接では部活動の実績なども聞かれるのですか。

間瀬　慶應は文武両道の生徒が有利と聞いていたので、硬式テニス部で活動したことを強調しました。

佐藤　自分をアピールできることがあれば何でもいいと思います。僕は文化祭で頑張ったときの写真を持参しました。

市川　夏期講習で、他塾の「医系小論文講座」を受講しました。医学関連の知識も学べるので役立つと思ったからです。けれども、夏休みは他科目の勉強が優先なので、ほとんど手が回らない状態でした。結局２学期の終盤になって、高校の現代文の先生に添削指導をしていただきました。順天堂の小論文では、ユニークな発想が評価されるといわれています。ですから、他の受験生が思いつかないようなことを書こうと心がけました。今年は、赤い風船と、暗いトンネルの階段をおじさんが登っている写真を見て、小論文にまとめるという出題だったのですが、僕は暗いイメージだけれどもその先には何があるのか分からないと書きました。

大澤　ある意味では作家的な能力が求められるわけですね。

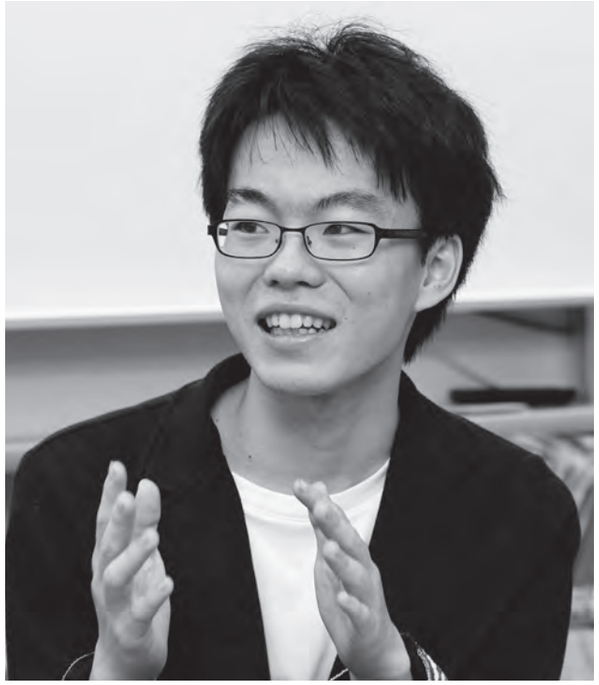
市川　すると面接のときに「君の小論文はなかなかいいね」と評価されました。順天堂第一志望なら、小論文では独創性が要求されると思います。

佐野　僕はそれで失敗しました。センター試験対策に追われ小論文どころではない状況で、本番では字数を埋めることしか考えていなかったからです。順天堂の小論文では、その風船の写真を見て800字書きなさいと言われても、どう書けばいいのか分からず、とりあえず明るい雰囲気のことばかり書きました。ところが面接で「この写真のどこを見て、明るい雰囲気を感じたのか」と聞かれて困ってしまいました（笑）。一方、面接対策としてはＳＥＧが河合塾と提携して実施した模擬面接を受けただけです。医学部では圧迫面接が行われる場合もあり､一緒に千葉大を受験した友達は｢後期はどこを受けるのか」と聞かれて、正直に東京医科歯科と答えたら、「どっちの大学がいいのか」と突っ込まれて固まってしまったと言っていました。

間瀬　慶應の面接でも「なぜ理Ⅲを受けないのか」と突っ込まれることがあるようです。そういうトリッキーな質問も含めて、どんな質問がされるのか、ネットなどでしっかり情報を入手して事前にどう答えるのか決めておくことが大切です。心構えをしておかないと挙動不審になってしまうからです。

佐野　ただその友達は「なぜ医師になりたいのか」の質問で､「人の役に立ちたいから」と答えたところ､「それで本音は？」と再度聞き返されて、完全に挙動不審に陥ったそうです（笑）。それでも合格したので、それほど面接は重視されていないのではないかと、僕は感じています。

佐藤　僕の場合、高校の現代文の先生が熱心に小論文の指導をしてくださいました。高３の９月から、月１～２回、僕が書いた小論文を前にしてマンツーマンで「この部分はこのような表現にした方がいい」と、丁寧に指導していただき感謝しています。それによって書く力に自信がつきました。面接は、佐野君と同じようにＳＥＧと河合塾が提携して行った模擬面接を受けました。高３の12月の実施でしたが、その時期にどんな質問にどう答えるのか、いったん整理しておけば後で応用がききます。そのほか、１次試験に合格した後に高校の担任の先生にも模擬面接をしていただきました。



夏休み、冬休みの過ごし方

夏期講習前の２週間が重要

大澤　夏休み、冬休みの過ごし方で気をつけたことはありますか。

佐藤　自宅にいるといろいろ誘惑がありますから（笑）、できるだけＳＥＧの自習室で勉強するようにしました。数学はクリーム本の基礎的な部分の復習、理科は概念の理解を中心に勉強しました。冬休みは、さすがにもう怠けようという気持ちはないので、自宅でもテストゼミの解き直しと過去問に取り組みました。

間瀬　ＳＥＧや高校の１学期の授業が終わってから夏期講習が始まるまで､約２週間のブランクがあります。この期間を有効活用することがポイントです。僕はクリーム本や化学のテキストの復習を、夏期講習が始まる前に集中してやりました。夏期講習が始まると、そ

受験までの私の学習

佐野 恭平
Kyohei Sano

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★★★	『クリーム本』を解く。その時に絶対答を間違えないようにする。
英語	★★★★	授業を聴いて、知らなかったことはきれいにシートにまとめ、それを電車の中でひまな時間に覚える。
化学	★★★★	宿題を全てちゃんとやる。テストゼミでは弱点をさがし、そこを解きなおす。間違えたところはノートに書きだす。
物理	★★★	宿題を全てちゃんとやる。間違えた問題はあとで解きなおす。ミスはノートに書きだす。
国語	★	センターをとりあえず解いて、コツをつかむ。

の予習・復習に時間がかかり、自分でやろうと思っていた勉強をする余裕がなくなるからです。この２週間は自習室もすいており、優越感を味わうことができます。しかも、この２週間頑張れば「慣性の法則」が働き、その後も勉強量が落ちません。一方で、冬休みはテストゼミの書き込みを親に消してもらって、解き直していました。

佐野　間瀬君が指摘したように、夏期講習前の２週間をどう活用するかが勝負です。僕は、１学期は化学、物理がやりっ放しになっていたので、この期間にまとめて復習しました。あわせて、事前に配布されている夏期講習のテキストの予習も進めました。冬休みは、センター試験対策として過去問を10年分解きました。

北村　僕もその２週間が重要だと思います。夏期講習が始まったら、予習が間に合わなくなることが予想されたので、僕はこの２週間で予習を終わらせておき、夏期講習に入ってからは復習中心の勉強を進めました。

市川　夏休み前にいろいろと計画を立てていたのですが、夏期講習が始まると予習・復習に時間がかかり、目標通りにはいかなくなっていきます。そこで、その日やることを決めて勉強するようにしました。自習室も利用しようと思ったのですが混雑していたので、自宅近くの図書館で勉強しました。冬休みはインフルエンザの予防もあって、自宅で勉強するようにしました。過去問が中心ですが、赤本の使い方でお勧めの方法があります。赤本は分厚く、答え合わせを面倒だと感じている人が多いでしょう。僕は親に頼んで、背表紙にアイロンをかけて糊を溶かして、年度別にバラバラにして、ホッチキスで分冊を作ってもらいました。持ち運びもしやすくなり、とても便利ですよ。

部活動、学校行事との両立

行事前の夏こそが勝負どころ

大澤　部活動や学校行事と、受験勉強の両立で工夫したことはありますか。

市川　文化祭や体育祭がそれほど盛んな高校ではありませんし、部活動も水泳部でしたが、高２の９月に引退するので両立は問題なかったですね。もっとも、部活動が終わって、これからは真面目に１日何時間以上勉強するぞと決意していたのですが、なかなか簡単に切り替えることができませんでした。結局そのままダラダラと過ごしてしまい、本格的に受験モードに入ったのは高３の４月からです。うまく切り替えるためにはモチベーションを高めておくことが大切です。

北村　僕は中学までで部活動はやめていました。学校行事も、浅野の場合体育祭は全員必ず出るように指示されていますが、文化祭は高３は参加しなくてもいいことになっています。ただ、僕は後輩から文化祭の手伝いを頼まれたので、結局両方に参加しました。秋の開催で、受験勉強への影響を心配したのですが、当日だけは楽しもうと割り切りました。

佐野　高２の９月で卓球部を引退しましたし、５月の文化祭も高３は関わりません。運動会も校庭が工事中で遠方で行われたこともあって、僕は参加しませんでした。ですから、両立で苦労したことはありません。

佐藤　部活動は陸上部の短距離でしたが、高２の11月に引退しました。学校行事は、５月に体育祭があり、４月からそれに向けたトレーニングが始まります。そのため、ＳＥＧの授業を欠席しなければならない時期があり、両立できなかったというのが正直なところです。その分体育祭が終わってから頑張ろうと割り切りましたが、結局欠席した授業の復習を埋め合わせるのに、夏近くまでかかってしまいました。

間瀬　部活動は硬式テニス部でしたが、高２の11月で引退ですから、受験勉強への影響はありません。問題は学校行事です。よく知られているように、筑駒は文化祭が一大イベントで、しかも高３が中心的な役割を担います。先輩からよく言われていたのは「それだけに夏が勝負どころになる」ということです。９月から文化祭の準備で忙しくなるため、勉強できなくなるからです。そのアドバイス通り、夏休みは自分なりに頑張りました。９月からもＳＥＧの授業には、たとえ遅刻して後半だけであっても出席するようにしました。テストゼミの場合は、時間不足で全部解けなくても、できるところまでやって解説を受けていました。

医学部を志望した理由

「研究の最前線」で興味が生まれる

大澤　志望大学を決めた理由を教えてください。医師をめざそうと考えたきっかけもお願いします。

間瀬　はっきりした理由がないまま、いつのまにか医学部をめざすようになっていました。日頃お世話になっている医師へのあこがれの気持ちが根底にあるとは思いますが……。将来、臨床医になりたいと思っているので、高度な臨床を学べる大学に進みたいと思い、高３の８月頃に慶應義塾大学を志望校に決めました。

佐野　父が医師だった影響もあって、小学生の頃、将来の夢の欄に医師と書いた記憶があります。もちろん、当時は漠然とした夢で、人生のプランとして医師をめざそうと決めたのは高校生になってからです。志望大学を決定したのはセンター試験の後です。千葉大と医科歯科大で迷っていたのですが、過去問を解いた結果、千葉大の出題傾向が僕に合っていると感じたのです。

北村　僕も父が医師だったので、小さい頃から医師が選択肢の一つでした。けれども、身近なだけに医師の大変さもよく分かっています。高校が、高１の終わりまでに志望学部を決めた方がいいという方針だったので、いろいろと悩んだのですが、家族が病気になって苦しんだときに自分の力で助けられるようになりたいという思いが生まれて、医学部受験を決意しました。父が慈恵会医科大の出身で、学校生活や教育内容などを聞いていたので、医学部受験を決めたときから慈恵志望は固まっていました。

市川　高校で宗教の授業があり、そこで取り上げられた小児科医の記事を見て、医師になりたいという気持ちが生まれました。できるだけレベルの高い大学をめざしたいという思いはありましたが、模試を受ける中で現実を見るようになって、11月頃に自分の学力に合った大学を受験することにしました。

佐藤　高２の夏、ＳＥＧの特別ゼミナール「研究の最前線にせまる」を受講しました。大学院生が研究現場の実態を話してくれるプログラムで、研究の世界に興

受験までの私の学習

間瀬 太朗
Taro Mase

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★★	・学校がある間は、テキストの予習をメインでやり、その復習は授業後に少し。長期休暇の時にテキストの解き直しをまとめてやった。 ・過去問は、センター後から各学校８年分。 ・センター対策は、過去問10年分と予備校の予想問題20年分くらいをやった。 ・伸びを感じたのは、テキストの復習を一気にやった冬休みあたり。
英語	★★★	・他塾のテキストと宿題をやった。 ・過去問はセンター後から各学校５～６年分
化学	★★★★★	・テキストの予習は、できると思った問題は確実に正解を導けるようにし、分からない問題はどこが分からないのかをはっきりさせてから授業に臨むようにした。 ・テキストの復習は、１回目は丁寧に解法を思い出しながら、２回目以降は適当に時間を決めて計算練習もかねて行った。 ・センター対策は、模試を受けたのと、過去問パックの１年分を解いたのみ。 ・過去問は、センター後から各学校８年分解いた。
物理	★★★★	・使ったのはSEGの高３からのテキストのみで、学期中は予習を、休暇中は復習を行った。 ・センター対策は、過去問１～２年分と、手薄だった原子物理分野の教科書を読んだくらい。 ・過去問は、センター後から８年分解いた。
地理	★★★★	・市販のセンター対策の参考書を３周くらい読み、情報を大きな白地図にまとめた。 ・過去問は、データのあまり変わっていない過去10年分を２回解いた。

味を持ちました。そこで、自分でもインターネットでさまざまな学問の内容を調べました。その中でとくに生物系の研究が面白いと感じ、医学部に進んで研究者になりたいと考えるようになったのです。

大学生活・将来の夢

大学ならではのプログラムが豊富

大澤　大学生活の雰囲気を紹介してください。あわせて大学卒業後のビジョンも聞かせてください。

佐野　千葉大医学部は、１年次はまだ医学関連の授業はありません。ただし、自分が好きな研究室を訪問して、研究の雰囲気を味わえるプログラムがあり、ぜひ参加したいと思っています。将来、研究医になりたいと考えているからです。また、千葉大には薬学部、看護学部もあるので、３学部の学生が合同で「理想の医療人像」などのテーマについて、それぞれの立場でディスカッションする「ＩＰＥ（Interprofessional Education）＝専門職連携教育」というユニークな授業もあります。

間瀬　慶應でも、薬学部、看護学部の学生と一緒にディスカッションする授業があります。女子学生が多く、合コンみたいな感じです。そもそも、日吉キャンパスでは全学部の１・２年生が学んでいます。何しろ慶應ですからすごく華やかで、男子校育ちの僕としては大学に行くだけで気持ちが高揚します（笑）。日吉駅の近くにビリヤード、ダーツなど遊興施設も多く、皆で一緒に行って、今までにない生活をエンジョイしています。テニス部に入り、全部員で早慶戦の応援にも行きました。将来は研究、臨床の両方に対応できる医師をめざしたいと考えています。

佐藤　大学入学後、陸上を再開しました。慈恵は、先輩と後輩、教員と学生のつながりが強く、親睦会もよく開かれているのが楽しいですね。また１年次から実験が多く、生物実験ではラットの解剖を経験しました。将来は研究医を志望していますが、まだ分野は決まっていません。今は神経科学に興味がありますが……。いずれにしても、新しい分野を切り拓く研究に携わりたいと思っています。

市川　高校と同様に、水泳部に入りました。順天堂大学には五輪金メダリストの鈴木大地教授がいらっしゃるのですが、指導されるのは専らスポーツ健康科学部の選手たちで、医学部生は教えてもらえません（笑）。２学部の学生が共同で寮生活を送っていますが、キャンパスを歩いている姿は上下ジャージで、慶應のような華やかさとは無縁です（笑）。将来は小児科医をめざしています。

北村　ジャズ研究会に入って、ドラムを始めました。オフィシャルには週１回だけ活動するはずだったのですが、先輩が熱心で、初心者の僕は週３～４日呼び出されて、土日もないような状態で練習しています。楽しいから問題はありませんが……。授業は実験が多く充実しています。ＳＥＧの化学を受けた身としては、今、大学で学んでいる化学にけっこうつながっていることを実感しています。もちろん、高度な内容にはなっているのですが、まったく知らない状態から一気に難しいステージに入るよりも、ＳＥＧで触れたというワンクッションがあるので、理解を深めることができます。将来は臨床医を志望しています。患者がそれまでどのように生きてきたかを考えて、それに基づいた治療方針を提示できるような医師になりたいと思っています。

後輩へのメッセージ

勉強を楽しむ気持ちを大切に

大澤　最後に後輩へのメッセージをお願いします。

佐藤　今、北村くんが話したこととも共通しますが、ＳＥＧでの勉強は大学入学後の学びにもつながっています。それだけ高度な学びの場だということを楽しんでほしいですね。もちろん、受験生時代はつらく苦しい気持ちになることも少なくないでしょう。それも長い人生における貴重な経験であり、今後生きていくうえでの財産になると信じて、何とか乗り越えてほしいと願っています。

間瀬　僕は、ＳＥＧは追い込み型の塾だと思っています。パターンを丸暗記させる塾の生徒の方が、早めに行われる模試の成績はいいでしょうが、11月頃になると本質を理解しているＳＥＧ生は必ず追い抜くことができます。ですから、各回の模試の結果に一喜一憂する必要はありません。模試の判定が悪かったから、無理とあきらめる必要もありません。模試の結果がよくなかったのはもう変えられないわけで、それを踏まえてどう対策を立てるか、前向きに考える姿勢が重要になります。

佐野　同感です。テストの結果が１回悪かっただけで悩んでしまう気持ちも分かりますが、それでも心に余裕を持って、勉強を楽しもうという気持ちだけは忘れないでほしいですね。

市川　僕は模試で、合格した順天堂大学はほとんどＤ判定、よくてもＣ判定でした。実際、補欠で滑り込んだのですが。それでも、根拠のない自信を持っていました。そのおかげで、直前でも焦って突然まったく違う勉強を始めたりすることはなく、自分のペースを守って勉強を進めることができました。僕が最後まで続けたのは、ＳＥＧで勉強したことの見直しに徹するということです。周りからは「今、こんな勉強をやっている」といった情報が聞こえてくるでしょうが、自分のやり方を信じることが結果につながると思います。

北村　とくに直前期になると、精神的に追い込まれるケースが出てきます。医学部の面接会場でも、周りは皆敵といった、ものすごい形相の受験生を見ました（笑）。しかし、医学部に受かったら医者として第一歩を踏み出すのであり、それにふさわしい人間味だけは忘れて欲しくないと思っています。

大澤　貴重なアドバイス、ありがとうございます。本日はお疲れさまでした。

卒業生からのメッセージ